

■事務室の方へ 恐れ入りますが、分会長さんへお渡しください。

長野高教組 FAX ニュース	増刷りの上、職場のみなさんに配布してください。
〒380-8790 長野市県町 593 TEL 026-234-2216 FAX 026-234-2219 メール naganokokyoso@educas.jp HP http://naganokokyoso.com/ FAX ニュースは、HP からダウンロードできます	2020 年 12 月 21 日 (月) No. 381 (20-18)

「学びの指標」 スケジュール一部変更するも、4月から強行！

新しい「学びの指標」決定に関する声明

2020 年 12 月 21 日

長野県高等学校教職員組合
教文部長 内堀 守

本年 7 月 9 日に提起された「新しい『学びの指標』(案)」(以下「指標」(案))が 12 月 21 日、長野県教育委員会定例会で決定されました。長野高教組は「指標」(案)が、(1) 理念と評価方法の乖離がある、(2) 生徒の内面を評価することの危険性、(3) 「指標」実施は現場の多忙化に拍車をかける、(4) 拙速な「指標」策定スケジュールである、と 4 つの問題点を指摘し撤回するように申し入れを行ってきました。

長野高教組は 12 月に緊急アンケートを実施し、「指標」(案)について高校現場の状況や意見を集約しました。アンケート結果では、「指標」(案)で 12 月中に実施するとしていた理念共有が 94.4%の学校できていないこと、さらに指標導入の必要性について 91.5%の学校で議論がなされていないことが明らかになりました。また 80.3%の学校から、校務の多忙化により 4 月導入は物理的に困難と回答するなど、校務や学校運営に混乱が生じることを危惧する回答がありました。12 月 15 日には、上記の状況を県教委や教育委員へ伝え、「指標」(案)の決定をしないことを強く要請しました。しかし「指標」の理念に「導入することが目的でない」と書きながら、本日、2021 年 4 月からの導入を決定しました。学校現場で「指標」の理念共有や内容についての議論が極めて不十分な状況で導入決定したことに対して強く抗議します。

県当局は、指標「考え方(理念)」については大きな変更をせず、2021 年度(令和 3 年度)は「全県共通質問」を用いて全ての高校で試行し、2022 年度(令和 4 年度)以降は試行の検証を踏まえて、「全県共通質問」と「学校独自質問」を全校に導入実施するとしました。

新型コロナウイルス感染拡大が収束の兆しも見せない中、「学校独自質問」は 2022 年度から導入するようスケジュールを変更しましたが、すでに生徒の自己評価が各学校では丁寧に取り組まれており、新たに「指標」を導入することにより多忙化が進むことがあってはなりません。

質問への回答方法は記名式で個人が特定できるようにして、通知表等への記載ができるとされています。さらに「質問設定参考例」が「・・・できる」表記になっているので、高評価を得るための回答へと生徒が誘導されることが予測できます。また内面評価の視点がなくなったわけではありません。

県教委が言う「相対的な評価に価値を置くことを排し」生徒支援を実現するためには、「全国学力・学習状況調査」をはじめとする相対的な評価による点数競争を廃すると同時に、人間性評価や人格評価による競争と選抜方法をなくすように、長野県教育委員会が、主体的に関係機関等へ働きかける等、具体的な行動を起こすことこそが必要です。

長野高教組は、引き続き「学びの指標」の問題点を分析し、県教委に対して改善の要求を求めています。